件 名:事業者のみなさん、事業系のごみを減らしましょう【諏訪市「ゼロカーボン」マ ガジンvol 17】

【諏訪市「ゼロカーボン」マガジン】 vol. 17 (R6. 3. 1)

このメールマガジンは、諏訪市ゼロカーボンシティ宣言にご賛同 いただきメールアドレスの登録がある方、その他関係者の方に対 して不定期にお送りしています。

今回の内容

- 事業系燃やすごみの量(令和5年度)
- 第三次諏訪市環境基本計画一部改訂中

- 【1 事業系のごみを減らしましょう】
 - ◆令和5年度の事業系燃やすごみ量

令和5年度(令和5年4月~令和6年1月)の事業系燃やす ごみ量は、「4,380t」でした。これは昨年度同時期と 比較して99.5%の量、21t減少しています。

◆事業系ごみの減量に取り組むメリット

事業系ごみ減量へ取り組むことで以下のメリットが 生まれます。

- 1 循環型社会を構築する一員として、 次世代によりよい環境を引き継げる
- 社会貢献する企業として、イメージアップに繋がる ごみ処理に係る経費削減になる

循環型社会、脱炭素社会を実現させ、持続可能な高原湖畔都市を 実現するためには、事業者のみなさんの取組が必要不可欠です。引 き続きごみの減量・リサイクル・適正処理にご協力をお願いします。

【2 第三次諏訪市環境基本計画一部改訂中】

諏訪市では第三次諏訪市環境基本計画の一部改訂を行っています。 現在開会中の市議会を経て正式に改訂されることとなりますが、以 下3点を考えの基本に置き、脱炭素社会実現に向けた取組を検討して いきます。

- ポテンシャルの地域内有効活用 1
- 民間活力活用と協働 2
- 3 地方創生の実現

特に2番目の民間活力の活用と協働については事業者の皆さんの協

力が必要不可欠です。計画の詳細概要については改めてお伝えいたしますが、意識醸成~再エネ導入まで様々な段階で、ゼロカーボンシティ宣言へご賛同いただいた事業者の皆様との協働を検討、実施していますので、今後ともご協力をお願いいたします。 なお、協働取組については本メルマガ等で共有いたします。

▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲ 適正なリサイクルをすると資源循環が実現する。燃やすごみを減らす と温室効果ガス排出量も削減する。その結果、経費も削減される。環 境配慮活動の効果は多岐にわたります。循環型社会、脱炭素社会実現 に向けて一緒に取り組みをしていきましょう。

(本メールの内容についてのお問い合わせ先) 諏訪市市民環境部ゼロカーボンシティ推進室 メール: zero-carbon@city. suwa. lg. jp

電話 : 0266-52-4141 (内線214)